

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		施設等整備事業（消防団施設）						予算事業名		施設等整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法、消防法				
			09	01	03	20	経常経費						
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう							事業の区分	主要事業				
	安全に暮らせるまちづくり							担当課係等	防災安全課				
	消防体制の強化								消防防災係				
事業期間		継続 （平成27年度～ 年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
消防団へ配備している車両（ポンプ自動車10車両、指令車、広報車）を順次更新することにより、地域消防力の強化と火災その他の災害防御体制の強化を図る。 消防水利の標識の整備により、火災活動時の迅速な水利確保を図る。							点検時にポンプ機能の低下に対する指摘や、出動の際に不具合発生があると、活動に支障が出る。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・ 老朽化した消防車両（車齢15年を超過するもの）の更新 ・ 消防水利標識等の改修 ・ 消火栓設置及び維持管理の負担							消防車両、結城市域の消防水利標識等						
							【事業をとりまく環境の変化】 ・ 消防団員の中にはAT限定の運転免許取得者が増加傾向にある。 ・ 今後、新運転免許制度による運転免許取得者が増え、現行の5 t ポンプ車を運転できる団員が減少するため、新運転免許制度の普通自動車免許で運転可能な3.5 t ポンプ車の導入について検討を行う必要がある。						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
・ 第4分団車両（平成17年式 5 t） ・ 消防水利標識等改修 ・ 消火栓設置及び維持管理の負担 ・ 防火水槽撤去工事（住吉神社南）				・ 第3分団車両（平成18年式 5 t） ・ 消防水利標識等改修 ・ 消火栓設置及び維持管理の負担				・ 第8分団車両（平成21年式 5 t） ・ 消防水利標識等改修 ・ 消火栓設置及び維持管理の負担					

事業費			R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金		0	0			
	県支出金		0	0			
	地方債		16,000	16,100			
	その他		0	0			
	一般財源		15,483	16,357			
歳入計（千円）			31,483	32,457			
歳出内訳	節（番号＋名称）		金額（千円）	金額（千円）			
	11	役務費	158	251			
	14	工事請負費	1,844	1,696			
	17	備品購入費	21,340	21,533			
	18	負担金補助及び交付金	8,100	8,936			
	26	公課費	41	41			
歳出計（千円）（A）			31,483	32,457			
伸び率（％）				3.09			
備考							

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	消防車両の更新	台	目標	1.00	2.00	3.00
	老朽化（車齢15年超）消防車両		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	更新車両数	台	目標	1.00	1.00	1.00
	新規消防車両		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	水火災を主とした災害発生時に使用する車両であるため、計画的な更新が必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	消防施設等の管理は、市が行うべきものであり妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	防災力の充実・強化のため、ポンプ車の更新及び消防施設等の管理を行う必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	車両には消防活動に必要な装備を搭載しているが、費用対効果に見合っているか検討課題である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民の生命と財産を守るため消防団が使用する車両であり、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	車両更新により、消防活動における安全性、確実性が向上している。 現行ポンプ車では、新運転免許制度の準中型運転免許を取得しないと運転できないため、検討が必要である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	順次更新をすることにより、耐用年数を大幅に経過することもなく、車両の故障も少なくなっている。 消防水利の標識も改修できており、消防活動に支障をきたしていない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
緊急車両のため、耐用年数を経過した車両は更新が必須である。新運転免許制度への対応が課題となる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
現行のポンプ車と3.5t ポンプ車の性能等を比較し、導入する車両の検討をすることで改善していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 消火栓等の設置及び管理、消防ポンプ車の更新は、消防活動を行う上で欠かせないことから、法律の改正に対応した維持管理及び更新を行っていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	